

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	文書館機能推進事業	所管	教育委員会教育総務部 文化財保護課
			TEL 2998-9253

事業の目的 (何の為に 行うか)	ふるさとへの関心を集約する媒体として歴史資料を活用し、地域の人々の学習活動やその学習単位からなる新しいコミュニティの創生に寄与する。また、紙数の制約により未公開のままの編さん事業の成果を周知し活用へと繋げていくことで、異なる関心や知識による新知見を得ることができる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市域の資料に関心を持つ可能性がある人(市域外の利用もあるが便宜上 学齢以上の市の人口とする)	対象とした数	321,092	人
		実際に 利用した数	29	人

活動 の内容	(何 をした か)	1. 市に関する歴史資料の調査収集整理をおこなう。 2. 迅速かつ適切に資料が検索できるように各種データの整備を進める。 3. 調査のための閲覧や書籍・WEBへの転載など様々な形態の利用を想定した利用規程を整備する。 4. 整理が進んだ資料・情報から公開が可能なものを選別し、公開に供するため原所蔵者と調整をおこなう。 5. 資料を保管する場所、資料を提供する場所の整備をする。 6. 利用者の関心に沿った学習支援をするとともに、目に留まりにくい資料の活用へ誘導するような事業を実施する。								
		活動 実績	項目 名	歴史資料の利用者	29	項目 名	歴史資料の利用点	269	項目 名	提供可能な歴史資料の点数
			単位 人		単位 点		単位 点		単位 点	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	78	71	1,198	3.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	提供可能な歴史資料の点数	所蔵資料のうち、データ整理や複製化の進行などによって提供できる状態になった歴史資料の点数	353871	272564	77.0
			単位 点	単位 点	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕					終了
		予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120500	TEL	2998-9253
事業コード	120520	文書館機能推進事業	教育委員会教育総務部 文化財保護課			
開始年度	昭和 63 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	文化財			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令						
	分野別計画・指針	所沢市教育行政重点施策									
	関連・類似事業	生涯学習施設整備事業(旧並木東小活用基本計画)(生涯学習センター)、博物館設置推進事業(社会教育課)									
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	5節 市民文化	中柱	3 文化財の保存・活用	小柱	(6) 歴史資料の収集・公開		
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○									
行政改革大綱における行動計画への位置づけ											
コード		1111		市民の知りたい情報の提供		コード		1321		窓口満足度の向上	
事業開始の背景		市史編さん事業(昭和48年度~平成5年度)の完了が近づくとつれ、市史編さんのために調査収集した歴史資料を保存活用する施設の必要性が検討され始めた。									

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)												
	ふるさとへの関心を集約する媒体として歴史資料を活用し、地域の人々の学習活動やその学習単位からなる新しいコミュニティの創生に寄与する。また、紙数の制約により未公開のままの編さん事業の成果を周知し活用へと繋げていくことで、異なる関心や知識による新発見を得ることができる。												
	対象(誰を、何を対象としているのか)						利用数の考え方						
	市域の資料に関心を持つ可能性がある人(市域外の利用もあるが便宜上年齢以上の市の人口とする)						必要な資料を提供できた人(有形の資料を利用した場合とし、口頭などで情報を提供した相手は除く)						
対象数		単位		平成 18 年度		人	利用数		単位		平成 18 年度		人
				平成 19 年度		人					平成 19 年度		人
						321,092							29
事業の具体的な内容及び実施方法													
1. 市に関する歴史資料の調査収集整理をおこなう。													
2. 迅速かつ適切に資料を検索できるように各種データの整備を進める。													
3. 調査のための閲覧や書籍・WEBへの転載など様々な形態の利用を想定した利用規程を整備する。													
4. 整理が進んだ資料・情報から公開可能なものを選別し、公開に供するため原所蔵者と調整をおこなう。													
5. 資料を保管する場所、資料を提供する場所の整備をする。													
6. 利用者の関心に沿った学習支援をするとともに、目に留まりにくい資料の活用へ誘導するような事業を実施する。													

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>											
	総合評価 <input type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])											
	<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)											
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了											
平成19年度中に改善した点												
資料に関する情報を可能なかぎり職員間で共有できるようなデータの整備を図っている。												

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		84	78		
	決 算 (見込み含む)		64	71		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	
	正規職員人件費		0.10 人	920	0.12 人	1,127
	公債費					
	事業費合計		984	1,198		
	財源内訳	一般財源		984	1,198	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)			2.9	3.5		
利用数一単位あたり(単位:円)			***	41,320.0		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	歴史資料の利用者	閲覧・複写・転載など利用希望者の数	人		29	
	歴史資料の利用点数	上記により利用された歴史資料(文書・写真・地図など)の点数	点		269		
	提供可能な歴史資料の点数	上記の対象として提供が可能な歴史資料の点数	点		272564		
成果分析	提供可能な歴史資料の点数	所蔵資料のうち、データ整理や複製化の進行などによって提供できる状態になった歴史資料の点数	点	目標値	353871	353871	
			%	実績	272564		実績値の拡大を図る1
			%	達成率	77.0		実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
	明らかなった課題	文書や写真など、利用の希望が想定される資料は30万点以上あるが、昭和48年度からの蓄積のため把握しきれていない部分がある。また、資料保管場所の問題や原所蔵者との調整などで利用希望に応じるまでに時間がかかり、利用者が満足できる提供ができていない。		
⑧二次評価	次年度評価	今年目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	総合評価	提供可能資料の点数を増やす。現状 おおよそ可能:写真・地図 課題あり:文書資料・図書・調査カードやデータ類	平成20年度中に、所有単位(史料群)視点のデータ整理を完了させ、文書資料の目録のデータを8割まで入力する。	
	予算	資料の活用面における体制の整備をすすめる。	平成20年度中に、活用の根拠となる利用規程を整備する。	
	評価理由	将来的には本事業は旧並木東小活用基本計画の中の「ふるさと研究活動」へ集約していくことになる。収蔵資料をより効果的に活用するためには、利用者にとってストレスの少ない資料納環境を整えるための収蔵施設の検討を継続していく必要があり、提供可能資料の範囲を拡大するために、一層の努力が必要である。		
評価日		平成20年5月16日	記入者職氏名 文化財保護課長 金子美也子	

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性											
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了											
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了											
	評価理由	評価日											
評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業					
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業					
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し											
⑪個別計画における方向性	基本目標											
	主要課題											
	施策の方向											